

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 国民文化祭活動支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課 企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2456)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,133 千円 (前年度予算額：7,400 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,400	0	0	0	0	0	0	0	7,400
要求額	9,133	0	0	0	0	0	0	0	9,133
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和6年度に岐阜県で開催する国民文化祭 (以下「岐阜県大会」という。) における事業実施予定団体が先催県で開催される国民文化祭を視察することで、同大会の実施、運営にあたっての知見等を蓄積する。

(2) 事業内容

岐阜県大会の事業実施予定団体構成員等が先催県の国民文化祭を視察する場合、各団体2名までの往復旅費 (宿泊費は1泊分を上限) を負担する。

なお、事業実施に際しては、県内文化団体等との関係も深く、岐阜県大会でも重要な役割を担う(公財)岐阜県教育文化財団に補助を行い、同財団を通じて事業実施予定団体に助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県大会の準備として実施するものであり、県負担 (補助率：1/2) は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金補助及び交付金	9,133	国民文化祭活動支援事業費補助金
合計	9,133	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ創生総合戦略」の〔3 地域にあふれる魅力と活力づくり〕
－〔(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信〕－〔①「清流の国ぎふ」文化・
芸術の創造・伝承〕
岐阜県国民文化祭基本構想（未策定）

(2) 国・他県の状況

沖縄県、石川県で類似事業を実施。

(3) 後年度の財政負担

令和5年度 石川県大会視察
※開催前年度までの2年間のみ
※年度ごとの負担額は国民文化祭開催場所により変動

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県大会を成功させるため、事業実施予定団体が先催県の状況を実際に確認、把握し、関係者と質疑応答等を行うことは必要かつ有意義であり、妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	国民文化祭活動支援事業費補助金
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県教育文化財団 （理由）当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展及び芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、従来から県内文化団体等との関係も深く、岐阜県大会でも重要な役割を担うため、補助事業者として妥当。
補助事業の概要	（目的）岐阜県大会の事業実施予定団体が先催県を視察することで、同大会の事業の実施及びその運営に係る知見等の蓄積が目的。 （内容）岐阜県大会の事業実施予定団体構成員等が、先催県の国民文化祭を視察する場合、各団体2名までの往復旅費（宿泊費は1泊分を上限）を助成。
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 （往復旅費（宿泊費は1泊分）相当額） （内容）県 1/2 （理由）岐阜県大会の準備として実施するものであり、他県の事例を参考にして補助率を設定。
補助効果	先催県を視察することで岐阜県大会の事業の実施及びその運営に係る知見等が蓄積。
終期の設定	終期 令和5年度まで（2年間） （理由）岐阜県大会開催前年度までの実施のため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

岐阜県大会の事業実施予定団体構成員等が先催県の国民文化祭視察することで、同大会の事業の実施及びその運営に係る知見等が蓄積。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2年度末)	目標 (R4年度末)	目標 (終期)
①先催県の国民文化祭視察団体数	-	70 団体	130 団体

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 7,400 千円	(要求額) 9,133 千円
指標①目標				70 団体	70 団体
指標①実績				(推計値) 10 団体	(推計値) -
指標①達成率	%	%	%	(推計値) 14%	(推計値) -

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和3年度より事業開始。
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない 	
(評価)	先催県の視察を実施することで、団体間の交流等を通じて岐阜県大会での事業の円滑な実施等に繋がる。
3	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2: 期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1: 期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0: ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価)	視察結果等は関係団体等と共有することで、岐阜県大会での事業実施等に大きく貢献。
2	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている 	
(評価)	県内文化団体等との関係も深く、岐阜県大会でも重要な役割を担う(公財)岐阜県教育文化財団を通じて事業実施予定団体に助成することから、事業の周知、補助金申請等も効率的に実施可能。
2	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>コロナ禍のため、令和3年度は視察が困難となり知見の蓄積が不十分であるため、令和4年度に開催される国民文化祭の視察が積極的に行われるよう事業周知方法等の検討が必要。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>事業を実施して必要があれば所要の見直しを実施。</p> <p>岐阜県大会開催前年度までの事業としていることから、令和6年度以降の同事業は廃止。</p>
--

